

令和元～2年度 長期総合計画 検証シート

施策No. 施策名		施策51 ごみの発生抑制の促進				主管	環境清掃部 清掃リサイクル課	
施策の概要	基本目標	基本目標4 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現						
	10年後の 目指す姿	●家庭や事業所でのごみの発生抑制に関する取り組みを通して、適正・適切な処理による更なるごみの減量が推進され、環境負荷の少ない循環型社会が形成されています。						
	主な取り組み	① 家庭ごみの発生抑制		③ もったいない意識の啓発				
*施策を構成する行政計画事業の進捗は、裏面「行政計画事業」を参照。								
施策の執行状況	施策の指標	指標名	策定時 (2018年度末)	R元(2019) 年度末	R2(2020) 年度末	目標		出典
		区民一人1日当たりの区収集ごみ量	597g (2017年度)	563g (2019年度末)	555g (2020年度末)	2023年度末	2028年度末	所管課調べ
		事業系ごみ量	年4万8,195t (2017年度)	年4万4,662t (2019年度末)	年3万446t (2020年度末)	削減	削減	所管課調べ
		食品ロス削減のための取り組みをしている区民の割合	66.8% (2017年度)	72.6% (2019年度)	76.5% (2021年度)	80%以上	増加	台東区民の意識調査
検証結果	B	(施策及び施策の指標の実績、構成する行政計画事業の進捗・成果・課題等を踏まえ、長期総合計画一部修正(ポストコロナ)を見据えて取り組みを検証)						
	A 順調である	<p><施策の概要> ごみの発生抑制促進のため、家庭、事業所双方への啓発や排出指導を進めている。また、食品ロス削減のためのパネル展示などに取り組み、区民や事業者のもったいない意識の醸成を図っている。</p>						
	B 概ね順調である	<p><施策の指標> ・区民一人1日当たりの区収集ごみ量(×) ・事業系ごみ量(○) ・食品ロス削減のための取り組みをしている区民の割合(○) 区収集ごみ量については、策定時より削減しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により目標達成には至っていない。区民や事業者に対し、今後より一層の啓発事業や排出指導を実施していく。 事業系ごみ量は策定時より削減、食品ロス削減のための取り組みをしている区民の割合は策定時より上昇しており、目標達成に向け順調に推移している。引き続き行政計画事業を着実に進めていく。</p> <p><今後の方向性> 新型コロナウイルス感染症の影響により、区民の社会生活状況が変化している。家庭、事業所におけるごみの発生抑制を進めるため、食品ロス削減啓発に関する事業の見直しなど、新しい生活様式に合わせたより効果的な施策を検討していく。</p>						
C 順調でない								
施策を構成する行政計画事業の進捗								
	(事業No.) 行政計画事業名	所管課	本事業の取り組み (平成30年度事業量)	計画事業量	年度別 事業計画	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (実績は見込み)
1	集合住宅へのごみ排出抑制の促進	台東清掃事務所	集合住宅への排出指導棟数 (実施)	年330棟	目標	330棟	330棟	330棟
					実績	436棟	270棟	330棟
2	事業系ごみの排出指導	台東清掃事務所	指導調査 (120事業所)	年120事業所	目標	120事業所	120事業所	120事業所
					実績	129事業所	140事業所	120事業所
		台東清掃事務所	廃棄物管理責任者講習会 (3回)	年3回	目標	3回	3回	3回
					実績	3回	0回	2回
3	食品ロス削減の啓発	清掃リサイクル課	食品ロスの削減 (実施)	推進	目標	推進	推進	推進
					実績	推進	一部実施	一部実施